

令和5年春の叙勲・褒章受章者

4月29日に叙勲受章者及び褒章受章者が発表され、以下の会員が榮に浴されました。
心よりお慶び申し上げます。

叙勲受章者の横顔



旭日双光章（弁理士業務功労）

こもりひさお
小森久夫

学歴・職歴

昭和47年 国立富山工業高等専門学校電気工学科 卒業
昭和47年～昭和54年 シャープ株式会社
昭和54年～（現在） 弁理士法人楓国際特許事務所（旧小森特許事務所）

弁理士会歴

昭和54年 弁理士登録（8454号）
昭和56年度 近畿地方委員会 副委員長
昭和59年度 近畿地方委員会 副委員長
昭和61年度 近畿支部 幹事
昭和62年度～昭和63年度 弁理士会常議員
昭和63年度～平成2年度 近畿支部 幹事
平成5年度 ペーパーレス委員会 副委員長
平成6年度 近畿支部 幹事
平成9年度～平成10年度 近畿支部 幹事（副支部長）
平成11年度 情報企画委員会 副委員長
平成12年度 情報企画委員会 委員長
平成14年度 近畿支部 幹事
平成15年度 近畿支部 幹事（副支部長）
平成16年度 次年度人事検討委員会 副委員長
平成20年度 近畿支部 副支部長
平成21年度 日本弁理士会副会長
平成22年度 地域知財活動本部企画調整委員会 副委員長
平成22年度～平成23年度 中央知的財産研究所 所長
平成27年度～平成28年度 近畿支部 支部長
平成27年度 近畿支部 次年度事業検討委員会 委員長
平成29年度 近畿支部 INPIT 対応特別委員会 委員長
平成31年度～令和2年度 日本弁理士会常議員
令和5年度 関西会 監査役

賞

平成6年 弁理士会特別功労表彰
平成13年 日本弁理士会特別功労表彰
平成22年 日本弁理士会特別功労表彰
平成22年 日本弁理士会永年功労表彰
平成27年 日本弁理士会特別功労表彰

平成 29 年 日本弁理士会特別功労表彰

令和 元年 弁理士制度 120 周年記念式典特別功労者表彰

令和 3 年 日本弁理士会特別功労表彰

受章に浴して

この度は、この名誉ある章を頂きましたこと、大変嬉しく思っています。受章を機にこれまでを振り返ってみました。長い間、弁理士本来の仕事をさせて頂けたこと、及び、日本弁理士会の様々な業務にささやかながら関わらせて頂いたことに今更ながら気づきました。ほんとうに、多くの方のご支援があったからこそで深く感謝申し上げます。

弁理士登録後、ある時点から、「専権の反射としての社会貢献」という重い言葉を、尊敬する先輩弁理士から教えて頂きました。

その頃から、意図的に会務での業務を中小企業支援関係にシフトしてきました。既得権と言われないようにするための社会性を持つ資格であるためには、社会貢献する資格でなくてはならないとの考えでした。

これまで成果が出せたという訳ではありませんが、弁理士としてのこの心構えはこれからも持ち続けたいと思っています。

そして、弁理士になったときの初心を忘れずに、これからも誠実に仕事をし、これからの弁理士の皆様のために何らかの役に立つことが出来ればと考えています。



旭日双光章（弁理士業務功労）

かのう あきら
狩野 彰

学歴・職歴

昭和 54 年 東京大学工学系大学院修士課程 修了
昭和 54 年 日本鋳業株式会社（現 ENEOS 株式会社）
昭和 61 年 谷山内外特許事務所
平成 元年 狩野国際特許商標事務所
（現在） 国際ひかり栄特許事務所 所長

弁理士会歴

平成 元年 弁理士登録（9731 号）
平成 12 年度～平成 13 年度 知的財産支援センター 副センター長
平成 15 年度～平成 16 年度 日本弁理士会常議員
平成 16 年度 役員・組織検討委員会 副委員長
平成 17 年度 役員制度検討委員会 副委員長
平成 20 年度 例規委員会 委員長
平成 21 年度 総合政策検討委員会 委員長
平成 22 年度 日本弁理士会副会長
平成 24 年度 関東支部 支部長
平成 26 年度～平成 27 年度 日本弁理士会常議員
平成 30 年度 審査委員会 委員長

公職

平成 24 年～平成 25 年 経済産業省 広域関東圏知的財産戦略本部本部員
平成 25 年～平成 26 年 工業所有権審議会試験委員

賞

平成 17 年 日本弁理士会特別功労表彰
平成 23 年 日本弁理士会特別功労表彰
平成 24 年 日本弁理士会永年功労表彰
平成 27 年 日本弁理士会感謝状
平成 28 年 日本弁理士会特別功労表彰
令和 元年 弁理士制度 120 周年記念式典特別功労者表彰

受章に浴して

令和 5 年春の叙勲に浴することができましたのは、日本弁理士会、特許庁の皆様のお陰と深く感謝致します。

この度の叙勲は弁理士業務功労、元 日本弁理士会副会長として特許庁、経済産業省のご推薦によるものと公表されております。

弁理士試験合格により弁理士登録し、弁理士業務を長年続けながら日本弁理士会の会務を行うことができました。振り返って、簡単にまとめます。

（1）会務について

知的財産支援センター発足時の総務部長を若輩ながら担当させていただき、各地の弁理士等と知り合うことができました。

役員・組織検討委員会等において弁理士法改正について検討しました。

また、関東支部等の新設について議論しました。その後、関東支部長を務め、関東支部における都県委員会の活動を活性化する下地を整えるとともに、都県委員会の必要性や有効性について実感しました。

そして、2010-2011 年に筒井大和元会長の下で副会長を務め、国際活動と監事会（会務）を主に担当し、日米の特許交流、日中の商標、特許交流、日英、日独、日仏の特許交流、そして、フィリピン国マニラにおいてアジア・セミナーを行いました。諸外国の Patent・アトニー、ロイヤー、裁判官、大学研究者等の多

くの方々にお世話になり、意見交流をする機会を得ました。副会長任期終了直前に東日本大震災が起り会員の災害対応に奔走しました。

審査委員会においてはいわゆる会員問題について外部委員の先生方とともに弁理士法等に則って公正に検討し議論をいたしました。

(2) 業務について

外内の特許や商標の権利化を続けました。外国ブランドの商標登録の代理人であることから、模造品の鑑定に関して空港警察や税関から協力を求められ驚きました。内外の商標権の維持に関して、世界中のほぼすべての国や地域の代理人と協力して業務を行いました。また、内内の特許業務においては、技術分野によって、特許の実用化に要する時間が様々であり、公開前に多額のライセンス料を得た顧客もあれば、特許権の存続期間が満了した後になって初めて社会に一気に普及した発明も扱いました。

最後に、会務や業務において多くの弁理士の先生方にご指導ご鞭撻をいただきましたことを感謝いたします。また、知的財産を生み育て保護して日本経済を発展させ世界の人類を豊かにするために日本弁理士会及び弁理士がたゆまぬ努力を続けさらに発展することを祈っております。

以上



瑞宝小綬章（経済産業行政事務功労）

い せき もり ぞう
井 関 守 三

学歴・職歴

昭和 49 年 東北大学大工学部 卒業
昭和 51 年 東北大学大学院工学研究科修士課程 修了
昭和 51 年 特許庁 入庁（審査第三部金属加工）
昭和 55 年 審査第四部審査官（金属加工）
昭和 61 年 総務部電子計算機業務課
昭和 63 年 審査第五部 映像機器
平成 3 年 審査第二部調整課 審査機械化調整室
平成 5 年 審判部第 21 部門（電力） 審判官
平成 7 年 審査第五部 通信、電子回路
平成 11 年 4 月 審査第五部 伝送回路技術担当室長
平成 11 年 7 月 審査第五部 画像処理 審査長
平成 12 年 審査第四部 半導体機器 審査長
平成 13 年 審判部第 28 部門（情報処理・伝送システム） 審判長
平成 14 年～平成 16 年 東京農工大学 非常勤講師（知的財産法担当）
平成 18 年 審判部第 28 部門（情報処理・伝送システム） 部門長
平成 20 年 特許庁 退官
（現在） 弁理士法人鈴榮特許総合事務所 常務顧問

弁理士会歴

平成 20 年 弁理士登録（15880 号）

受章に浴して

令和 5 年春の叙勲の栄に浴し身に余る光栄に存じます。特許庁、日本弁理士会をはじめとする、これまでにご指導ご鞭撻をいただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

特許庁在職中は、金属加工、映像機器、通信、電子回路、画像処理、半導体、情報処理などの、多くの技術分野において審査・審判業務に従事いたしました。いずれの分野においても産業界の活発な技術開発を体感することができ、きわめてやりがいのある仕事ことができました。この間に、電子出願システムの開発に参画できたことが印象に残っています。当時は、課題の山に囲まれて、困難を極めましたが、特許庁内が一丸となって開発を行い、出願人や弁理士をはじめとする多くの皆様の協力を得て、平成 2 年末には稼働し、今ではあって当然のシステムになっていることを大変嬉しく思います。まだ PC 間の通信が一般的に行われていなかった昭和 61 年に「マイコン通信入門」というテレビ番組に出演しましたが、この番組は電子出願の理解に役立ったように思います。

現在、弁理士として、特許出願をはじめとする知的財産に関わる業務に携わっておりますが、電子出願によって蓄積されたデータベースにアクセスして業務を遂行しております。今後も、微力ながら、知的財産制度の円滑な運用に貢献したいと考えております。引き続きご指導ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

褒章受章者の横顔



黄綬褒章（弁理士業務功労）

ひろ さわ いさお
廣 澤 勲

学歴・職歴

昭和 54 年 静岡大学工学部精密工学科卒業
昭和 54 年～昭和 61 年 オリンパス光学工業株式会社（現：オリンパス株式会社）
昭和 61 年～昭和 63 年 宮田特許事務所
昭和 63 年～ 広沢国際特許事務所
（現在） 広沢国際特許事務所

弁理士会歴

昭和 62 年 弁理士登録（9543 号）
平成 3 年度 北陸地方委員会 副委員長
平成 7 年度～平成 8 年度 北陸委員会 副委員長
平成 9 年度 北陸委員会 委員長
平成 9 年度 「弁理士業務の実態及び意識調査」支援委員会 副委員長
平成 10 年度 北陸委員会 副委員長
平成 10 年度～平成 11 年度 北陸部会 副部長
平成 15 年度 北陸部会 副部長
平成 16 年度～平成 17 年度 日本弁理士会常議員
平成 17 年度 常議員会第一委員会 副委員長
平成 17 年度～平成 18 年度 北陸支部 副支部長
平成 19 年度 北陸支部 監査役
平成 20 年度 防災会議 議長
平成 21 年度 防災会議 副議長
平成 23 年度 北陸支部 幹事
平成 24 年度 北陸支部 副支部長
平成 27 年度 北陸支部 支部長
平成 27 年度～平成 28 年度 北陸支部 北陸キャラバン キャラバン長

賞

平成 10 年 弁理士会特別功労表彰
平成 18 年 日本弁理士会特別功労表彰
平成 22 年 日本弁理士会特別功労表彰
平成 28 年 日本弁理士会特別功労表彰
平成 29 年 日本弁理士会永年功労表彰
令和 3 年 知的財産権制度関係功労者表彰（特許庁長官表彰）

受章に浴して

この度は、凶らずも黄綬褒章の榮に浴し身に余る光榮に存じます。これもひとえに、お世話になりました皆様方のお陰であると心から感謝申し上げます。

私は、昭和 62 年（1987 年）に弁理士登録しましたが、昭和 54 年（1979 年）大学卒業後に入社しましたオリンパスにおいて特許部に勤務し、知的財産に関する業務は今年で 45 年目になります。特に同社において、企業における特許管理や知財戦略を学ぶことができ、さらに私は精密機械系の専攻でしたが、同社製品に関する光学技術や電気電子工学について多くを学ぶことができ、弁理士としての業務に大いに役立ちました。その意味で、当時の上司や先輩同僚には大変感謝しております。

企業での知財業務は大いにやりがいがありましたが、故郷富山に帰りたいということもあり、悩んだ末富山に帰り、未だ弁理士試験には合格していませんでしたが、宮田特許事務所に勤務させていただき、翌年合格することができました。富山では、地元企業の大切な知的財産を扱うと言うことで、大企業での知財とは異なる知財戦略の重要性があり、個々の知財の重みの違いを感じさせられました。

富山に帰った理由の一つに、これまでに学んだことを北陸富山の地で生かしていきたいという思いがあり、宮田先生にご理解頂いて独立し、今日に至っております。従いまして今後もこの受章に恥じないよう、特許法及び弁理士法の法目的に資すべく微力ながら努力していきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。